

中東の大学におけるリベラルアーツとしての古典教材を用いた教育実践

菊地 真

要旨

海外において、日本古典を日本語教育カリキュラム中の必修科目としている国・地域は少なくない。一方、日本語教員が基本的に少ない海外の現場で、日本古典を専門とする教員はさらに少数で、そうでない教員でも利用できる古典教材の開発が望まれていた。稿者はそうした古典教材を、漢字文化圏の教育現場で構想し、非漢字文化圏での現場でさらに試行錯誤しつつ開発し、刊行した。これはリベラルアーツの教材として、学習者の日本語作文能力向上に資するいっぽう、古典を専門としない教員にとっても使いやすい日本語教材となっている。中東の大学においてその教材を用いた実践を報告する。

キーワード

日本古典教育、リベラルアーツ、日本語作文、中東の大学

1. はじめに ー二つの古典教育ー

日本古典教育に関する議論は渡辺（1955）以来、今日まで続いているが、その間の実践報告・研究発表数は多くない。それにもかかわらず、論者ごとに古典教育の概念が異なる。

その一つは文学・語学・史学等日本古典の専門家を養成する専門課程の準備教育である。想定する教員は古典で学位を持つ専門家で、学習者は日本古典の専門家志望者である。この意味での日本語教育を論じているのは、たとえば佐藤他（2016）などで、ここでは受講生に「日本研究や日本関係の専門職従事者」等を想定するとある。

他の一つは日本古典を専門とする道に進まない日本語学習者を対象とした古典教育、つまり日本語教育の一環、あるいはリベラルアーツとしての教育である。これの目指すところは実践者ごとに様々で、たとえば庵（2020）では、受講者に文語文法知識を要求せず、日本の思想に触れさせ、日本語理解を深めさせる教育実践を報告している。

稿者は菊地（2021）で、これら二つの教育は教員・学習者・達成目的も異なるゆえ、プログラム・教材も別とすべしと指摘した。また古典教育の議論史と古典の定義につき、菊地（2020a）で概略をまとめ、自身の実践経験を踏まえ、古典を学ぶ意義を達意の日本語を創作するためと結論づけた。要するにリベラルアーツとしての古典教育とは、日本語作文能力を伸長するための教育と考えている。本稿は 2020 年秋におけるカイロ大学文学部の必修科目授業の実践報告で、リベラルアーツとしての古典教育の報告と位置づけたい。

2. リベラルアーツとしての古典教材の登場

菊地（2020b）は中上級日本語学習者の日本語作文能力伸長を目的としたリベラルアーツとしての新教材で、一般の日本語教師にも容易に利用できる。これは稿者が国内外において日本語学習者を対象に実施してきたレジュメをまとめ直し、編集した教材である。こ

れを用いることで、受講生の作文能力向上に成功したことは、菊地（2020a）で報告した。

レジュメから冊子教材としてまとめ直す際、以下の2点を配慮した。一つは日本語学習者の自習教材としても利用できること、二つに古典を専門としない教員でも利用できることである。このために、本文の配列・課題設定や、文法語彙事項説明等で工夫した。

まず菊地（2020b）の構成の概要を紹介しよう。この書は三部から成る。

資料1 菊地(2020b)目次(抜粋)

第一部 古典読解篇 たけくらべ／学問のすすめ／東海道中膝栗毛／雨月物語／奥の細道／日本永代蔵／風姿花伝／御伽草子／徒然草／平家物語／今昔物語集／大鏡／源氏物語／竹取物語／土佐日記／古今集
第二部 文法・語彙篇 はじめに（歴史仮名遣い）／断定表現／否定表現／受け身表現／使役表現／過去表現／推量・意志表現 a／推量・意志表現 b／推量・疑問表現／疑問・強調表現／敬意表現／識別／重要古語（接続助詞）／重要古語（その他助詞）／重要古語（活用語）
第三部 古典知識篇 漢字というは歌／日本の漢籍受容／平安貴族の衣服／寝殿造り／古代中世貴族の乗り物／日本古代の結婚／葬送と呪術／年中行事／平安貴族の芸と遊戯／和歌／平安知識人の記録／人名呼称／前近代社会の身分／古典世界の動物

第一部は古典読解篇である。古典を専門としない教員や日本語学習者が、古典授業を敬遠する第一の理由は、その背景社会が現代と異質なことだ。ゆえに学習者にも教員にも、成立の新しい作品の方が古い作品に比べ、親しみやすい。本書は日本語教育の一般原則に則り、易から難の順に並べる意味で、古典作品を成立の新しい順に収録している⁽¹⁾。

第二部は文法・語彙篇で、歴史仮名遣いから始め、表現別に項目を立てている。文法説明では語学的専門用語とか専門概念は極力排した。その結果、文法説明そのものは従来の半分以下の分量となり、その分、例文・練習問題を充実させることとした。

第三部は古典知識篇で、文学史・文法・語彙以外で、古典理解に必要な知識を学ぶ。この篇だけ独立させ、日本文化特論の教材として利用できるのも、特徴の一つである。

3. リベラルアーツとしての古典教材を用いた授業概要

この教材は漢字文化圏の大学での講義レジュメをまとめ直して作られた。それが非漢字文化圏の大学でも生かせるかをテーマに、中東の大学における授業の実践報告をする。

授業期間は2020年10月18日から翌年1月5日までである。対象はカイロ大学文学部4年生20人で、日本語能力は日本語能力試験N3からN2程度、ただし半数は日本留学経験者である。1コマ120分を週2回、うち1回は古典読解篇、1回は文法・語彙篇の授業とした。いずれの授業も毎回TA付きで、適宜アラビア語の補助解説をまじえ進めた。

新型コロナウイルス感染症蔓延のため、10月18日から12月20日まで面接授業（古典読解篇8回、文法・語彙篇9回）、以後1月5日までオンライン授業となった。

4. 古典読解篇の学習

第一部では、校訂本文を示し、語釈をつけ、全訳をつけている。これによって、文法を習得途中の学習者でも本文を理解し、課題に進むことができる。また古典が専門でない教員でも、本文紹介から作文課題にまで学習者を導けるように工夫されている。

資料2 菊地(2020b)第一部本文・注釈・現代語訳

注釈	今昔物語集	現代語訳
天竺 インド 屎尿 汚物 きたなむ 汚なが る 仏 釈迦仏	今ハ昔、天竺てんじくニ一人ノ長者有リ。其家ニ屎尿しにやうノ穢よごれヲ浄きよムル女有リ。家ノ内、若干じゃつかんノ人ノ屎尿ヲ朝夕ニ運ビ浄メテ年来としごろヲ経タリ。然しかレバ家内ノ人、皆、此コノ女ヲ穢きたナミ蔑さげすみテ、自然みずカラ道ニ会フ時モ唾つばヲ吐キ鼻ヲ塞ふさギ更さらニ近ヅカズ。其その時ニ、仏、此ノ女ヲ哀かなしビ給ヒテ、(以下略)	今となつては昔のことだが、天竺に一人の長者がいた。その家に汚物を清掃する女がいた。家の何人もの汚物を朝に夕に運び清掃して数年を過ごしてきた。それで家の人は皆この女を汚がって軽蔑し、いつも道で会うと唾を吐き、鼻をふさぎ決して近づかない。その時仏はこの女を哀れまれ、(以下略)

第一部では、課ごとに作文課題がある。このヒントとして、本文に類似する他時代・他文化の作品を紹介している。学習者が本文とヒントの他作品とを比較し考察することで、現代を相対化することを促し、自分の言葉で作文を書き出せるよう工夫している⁽²⁾。

資料3 菊地(2020b)第一部課題とヒント

<p>【課題】</p> <p>①『今昔物語集』のこの箇所はヒント 1-1『賢愚経けんぐきょう』等の経典から取材して創作されました。『今昔物語集』当該箇所は後世、ヒント 1-2 芥川龍之介に取材されました。『今昔物語集』・『賢愚経』・芥川の「尼提」を比較し、それぞれの成立背景なども考慮しながら、あなたの考えを述べなさい。他の文献例も紹介できれば望ましいです。</p> <p>②『今昔物語集』には、愚かな人をも救う仏の姿がありました。世界には、愚かでも救われる宗教説話が多くあります。ヒント 2“Legenda aurea”の逸話を『今昔物語集』と比較しつつ、あなたの考えを述べなさい。他の文献例も紹介できれば望ましいです。</p> <p>③中世、日本で『三宝絵詞』や『今昔物語集』が編集されたころ、中国では『太平広記』『太平御覧』が、アラブ世界では『千夜一夜物語 (الف ليلة وليلة)』が、ヨーロッパでは『黄金伝説 Legenda Aurea』などの説話集が、編集されました。互いに何の連絡もないに関わらず、これらには類似した話が多い。たとえばヒント 3 の話はヒント 2 と似ています。これに関し、あなたの考えを述べなさい。他の例も紹介できれば望ましい。</p> <p><ヒント 2 “Legenda Aurea”『黄金伝説』> (ヒント 1・3 は省略)</p> <p>Legenda aurea『レゲンダ・アウレア』は、ヤコヴス・デ・ヴォラギネ (1230?-1298 年) による聖人列伝形式のキリスト教説話集。1267 年頃に完成。(以下略)</p>	
'Feast of the Annunciation'	「お告げの饗宴」

<p>Of the salutation that the angel brought to the glorious Virgin, we read an example of a noble knight. (中略) It happed after, that upon the burials grew a right fair fleur-de-lis, and in every was written in letters of gold: Ave Maria, of which miracle all the brethren were amarvelled, and they did open the sepulcher, and found that the root of this fleur-de-lis came out of the mouth of the said knight, and anon they understood that our lord would have him honored for the great devotion that he had to say these words, Ave Maria.</p>	<p>天使のする、栄光の聖母への挨拶として、私たちは高貴な騎士の話をしてしよう。(中略)すると騎士を埋葬した場所から清らかなユリがはえ、すべての花に金の文字で「アヴェ・マリア」と書かれていた。その奇跡に、遺族の皆が驚嘆し、彼らは騎士の墓を掘り返してみた。このユリの根は、この騎士の口からはえているのを発見した。そして彼らは神が、「アヴェ・マリア」と生涯唱え続けた騎士を、祝福なさっていることをさとした。</p>
--	---

古典読解篇の授業では、最初に前回の宿題回収から始め、提出された前々回分の作文を返却し講評する。次いで作家・作品概説、本文音読、語句等の解説をし、各課の課題とヒントについて説明し、それに関する質疑応答を経て、その課の総括をする。最後に今回の課題作文(500字程度)を宿題とすることを確認し、次回の授業でこれを回収する。

授業でも、教材の特性を利用し、学習者に作品と自身との関わりを気づかせる工夫ができる。たとえば課題の<ヒント>を読み、本文に類似する学習者の文化の作品を話題とし、「この作品に似た、皆さんの知っている昔話がありますか…」等と、学習者側からの発言を促す。このように課題への関心を高めさせた上で、作文をまとめさせる。

それでは、二週目の授業で提出された作文を紹介しよう。

資料4 学生の作文1『たけくらべ』

<p>【本文要旨】花魁の妹・美登利と、寺の住職の息子・信如とは、学校の同級生である。思春期前の二人は、お互いに気づかないまま、淡い恋心を抱いていた。東京下町の庶民生活を背景に、二人はさまざまな事件を経、葛藤を重ね、やがて別れていく。</p>	
<p>【課題】 (課題①・③は省略)</p>	
<p>②ヒント2『伊勢物語』は、幼なじみ同士が成人して夫婦になる「筒井筒の恋」物語です。これと『たけくらべ』を比較し、あなたの考えをのべなさい。あなたの知っている、他の文学作品を紹介できれば、望ましいです。</p>	
<p><ヒント2 『伊勢物語』「筒井筒<small>つつあづ</small>」> (ヒント1・3は省略)</p>	
<p>『伊勢物語』「筒井筒」</p>	<p>現代語訳</p>
<p>むかし田舎<small>あなか</small>わたらひしける人の子ども、井のもとにいでて遊びけるを、大人になりになれば、男も女も恥<small>はぢ</small>かはしてありけれど、(略)</p>	<p>昔、地方官を勤めていた人の子ども二人が、井戸のあたりで遊んでいた。大人になり、男も女も互いに恥ずかしがりあうようになったが、(略)</p>

【学生の作文】

「筒井筒」と「たけくらべ」の二つの作品の中にある相違点と類似点に関して、自分の意見を述べていく。

まずは、この二つの作品が書かれた時代の鏡となるのであろう。なぜなら、たけくらべは、明治時代にあった身分制がどのようにこれらの子供たちの生活や友情の絆に影響を与えたか表している。いうまでもなく、筒井筒では、平安時代の結婚制度や一夫多妻という時代を背景としている。

次に主人公に関して、二つの作品の主人公に違いがあるのだろう。たけくらべのみどりと信如とが他の子供達にからかわれたから、二人がお互いを避け、気まづくなったといえるのだ。

一方、筒井筒の主人公が幼馴染で仲良かったが、大きくなって恥ずかしさで会えなくなった。そこに二つの作品の主人公の違いが現れる。筒井筒の二人がその恥ずかしさを乗り越え、和歌を交わし、女性が他の男性を断り続け、とうとうかねてからの希望の通り結婚した。

一方、たけくらべの二人が、自分の気持ちを伝えようとしなくなり、自分たちの社会的地位を気にした。結局お互いの気持ちをわからず、別れることになる。

最後に、筒井筒の二人の主人公の愛はどうかして重い足枷も浮気なども乗り越えていくのは個人的には好きだが、たけくらべを読み、二人の未完成な愛という悲劇に、美しさも儚さもあると考えた。

前半で、『たけくらべ』と『伊勢物語』がそれぞれの時代背景を映し出したことを指摘している。「明治時代にあった身分制が…子供たちの生活や友情の絆に影響を与えたか」とか、「筒井筒では、平安時代の結婚制度や一夫多妻という時代を背景としている」とか、自主的に調べた内容を作文に生かしている。後半で両作品の比較を試みている。

字数の制約があり、授業の開始から間もないにかかわらず、教材の特徴を生かし、課題文と〈ヒント〉を比較する中で考えをまとめ、初歩的ながら比較文学論を展開している。次に、この授業開始から約一ヶ月後の授業で提出された作文を紹介する。

資料5 学生の作文2『雨月物語』『菊花の約』

【本文要旨】主人公は清廉な武士で、ある日、近所で病に倒れた旅の武士を介抱した。旅の武士は回復し、その地に戻って再会する約束をし、故郷に帰ると悪領主に幽閉された。彼は主人公との約束を果たすべく自害し、霊魂となり主人公の前に現れ、語る。

【課題】(課題①・②は省略)

③『雨月物語』『菊花の約』は人のあり方を問いかける作品ですが、そのような文芸としてヤヒヤハエ「**الوسطجي**飛脚」があります。この二作品を比べ、あなたの考えを述べなさい。他の作品も紹介できれば、望ましいです。

<ヒント3 ヤヒヤ ハエ**حقي بحبي**「飛脚 **الوسطجي**」> (ヒント2・3は省略)

ヤヒヤ ハエは困っている人々を登場人物とし、温かい視線を注いだ作品を創作しました。最も有名な作品は以下の「飛脚 **الوسطجي**」です。

صدر هذا الكتاب عن دار المعارف وقرأناه ونحن لم نزل طلابا في الثانوية وعنوان الكتاب هو «دماء وطن» ويتضمن بي

(以下略)

【学生の作文】

怖い話として分類されている作品だが、中には色々な価値観が話題として取りあげられている。例えば約束を守ることだ。友人の関係を築くには約束を守らなければならない。たとえその約束がどんなに叶えにくくても一回約束したら守らなければならない。

そして人間の優先順位について細かく話されている。大変な状況の中で主人公が優先したのは友達に会いに行くことだった。その二つの件から色々分かると思う。怖い話だと分類されているものでも、丁寧に読んでみると勉強になるだろう。

エジプトの怖い話と比べるとものすごく深い作品に見えるだろう。何冊も読んだがエジプトの怖い話はだいたい全部一緒だと思う。

日本古典の特徴として正しい生き方を説くことが多いとも考えられるだろう。徒然草や方丈記のような主に正しい生き方を説く作品だけではなく、雨月物語のような作品からも色々勉強になるだろう。

この作文は課題本文を自分なりに咀嚼し、さらに自身の関心ある日本の思想・道徳の影響を本文から読み取ろうとする姿勢を見せている。具体例はあげられなかったが、『雨月物語』をエジプトの諸怪談と比べ「深い作品に見える」と自分なりの評をしている。少々稚拙ながら『雨月物語』の『徒然草』や『方丈記』に通ずる思想性にも気づいている。

総じて中東の学生は、作品の思想背景とか宗教の影響とかに敏感な傾向がある。優秀な学生ほどそれを掘り下げ、読みごたえのある作文を提出してくる。漢字文化圏の学生の作文に比べ、語彙（特に漢語）は乏しいものの、その分、和文脈を基本とした読みやすい文章を書いている。漢字文化圏の学生にありがちな、漢語に頼り過ぎ、意味の通じづらい文を作るとか、不適切な漢語用法とかのミスを犯さないのは、中東の学生の長所である。

5. 文法・語彙篇の学習

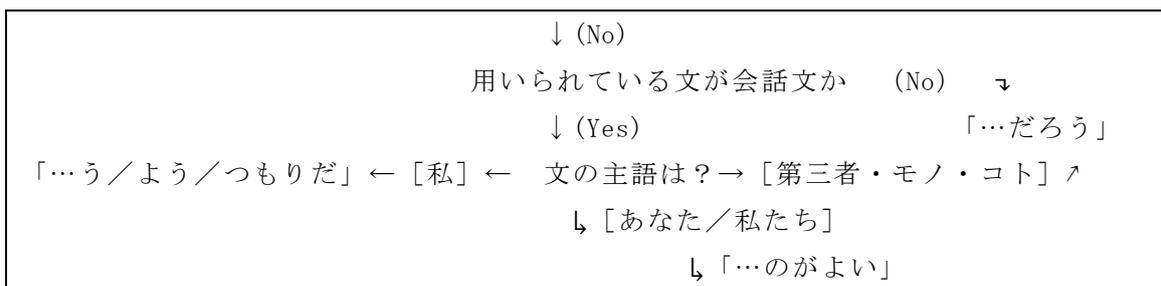
文法・語彙篇の目指す水準は、菊地（2020b）「まえがき」に「第二部は…辞書をひきながら古典文を読解できるように最低限必要な文法と、古典文によく出る語彙の解説をしています。この篇の二番目の目的は、海外における日本古典文法の公的試験に必要な知識を習得することです」と示している。将来古典を専門とする予定のない学習者は、最低限の古典資料操作能力を会得できれば十分なのである。今日、現代語訳のない古典文は稀である。古典資料と現代語訳文とを並べ、違和感なく理解できればよい。そのような学習者に、日本語学的専門知識、例えば品詞分解の方法の習得を押しつけても意味がないのだ。

菊地(2020b)では助動詞「む」につき、以下のように最低限の文法用語で解説し、なぜこういう現代語訳になるかを学習者に納得させることに焦点を絞った解説をしている。

資料 6 菊地（2020b）第二篇文法解説

「動詞未然形＋む／むず」「動詞連用形＋てむ／なむ」の識別原則

名詞のすぐ前にある (Yes) → 訳さない



学習者がこの解説を理解し、その知識を試験に生かす技法を【練習問題】と【応用問題】で習得すれば、海外で実施されている日本古典文法の試験問題にも対応できる。

資料 7 菊地 (2020b) 第二篇文法【練習問題】【応用問題】

<p>【練習問題】</p> <p>1. 「かのもと国より迎えに人まうで来むず。」の現代語訳はどれか。</p> <p>A 例の元の国から、私を迎えに人が参上しない B 例の元の国から、私を迎えに人が参上しようと思う C 例の元の国から、私を迎えに人が参上するだろう D 例の元の国から、私を迎えに人が参上しないだろう</p> <p>【練習問題 答】</p> <p>正答：C 「まうで来むず。」は会話文中で主語が第三者（「人」）なので「…だろう」。「ず」は未然形に接続しない（「む」には未然形がない）ので、否定「ず」ではない。</p>
<p>【応用問題】</p> <p>4. 「風吹けば波が立たむ」の現代語訳はどれか。</p> <p>A. 風が吹くので波が立つだろう B. 風が吹けば波が立つだろう C. 風が吹けば波がたつだろうか D. 風が吹くので波が立つだろうか</p> <p>正答：A → 「たたむ」の主語は「風」＝第三者・コトなので「だろう」の意味で、AかBに正解をしぼれる。「ふけば」が「吹く」（動詞カ行下二段活用）の已然形に接続（＝エ段音に接続）しているので、順接確定条件ゆえ、Aが正解。C・Dは疑問の意味の言葉が原文にないので正解にはなりえない。</p>

【練習問題】で、その課で習得した知識を用いて問題を解く技法を学ぶ。資料6の要点を会得すれば、資料7の【練習問題】は解ける。少なくとも解説は理解できよう。【応用問題】はこの課で習得した知識に他の課の知識を併せ用いれば解ける問題を用意した。

本書の文法・語彙篇は、日本語学の専門家を目指す学習者には不十分かもしれない。しかし、そうでない学習者が、日本古典（文語文）資料を利用する最低限の操作能力を習得するには、十分な内容をそなえている。加えてこの篇には、日本語学習者が受験することが予想される検定試験・入学試験対策までも用意されている。

2020年秋のカイロ大学での授業では、前回の内容を確認する小テストから始め、課の説明事項の要点を選び解説し、質疑応答の後、【練習問題】・【応用問題】を用いた演習を行い、解説した。最後に【練習問題】の復習を宿題とし、次回の小テストで確認した。

教室では、現代に残る文語のなごり、例えば「私は」「家を」とか、現代語との類似、例えば「る／らる」と「れる／られる」を示すなどして、授業内容への関心を喚起する工夫をした。無味乾燥になりがちな文法授業ながら、学習者は楽しく学べていた。自主的に予習していたので授業進行は滞りなかった。学習者の質問も生産的かつ活発であった。復習もよくやっていて、それを確認する小テストでは、ほとんどの受講生が満点であった。

6. 古典知識の学習

菊地（2020b）第三部では、古典理解に必要な事項につき、読み物風の解説をしている。

実例を示すと、「古代中世貴族の乗り物」の課ではまず「牛車とは平安時代以後の皇族・貴族が乗用とした車である。…日常生活全般に文化的な洗練が加わった王朝時代、その乗車姿も風雅やステイタスを競うものであった」と概説し、身分に応じ、豪華な車に乗っていたことを説明する。続いて「乗車姿も風雅やステイタスを競う」こと具体例に、『大鏡』と『源氏物語』を紹介している。こうした知識を読解にどう生かすかを理解できるよう、常に記述に工夫してある。各課末尾には、【確認問題】を用意している。

資料 8 菊地（2020b）第三部古典知識【確認問題】

【古代中世貴族の乗り物 確認問題】（問一／三は略）

問二 次の文の空欄を、下の a-g で補填しなさい。（各 1 点）

古代貴族の、一般的な乗り物である（ ① ）は、（ ② ）の部分に豪華な装飾を凝らしたものが多い。貴族が牛車に乗るのは、もちろん装束を着て移動するのに便利であるからだが、日常生活全般に文化的洗練が加わった王朝時代、その乗車姿も風雅や（ ③ ）を競うものであった。貴族の乗車のあり方は、国家の管理すべき（ ④ ）として認識されていた。

a 馬車 b 社会秩序 c 座席 d 屋形 e ステイタス f 知識の量 g 牛車

古典を専門としない教員でも、学習者に本文を読ませ、補足解説をし、授業の初めか最後に【確認問題】を小テストとしても用いれば、日本文化特論の授業ができる。

2020 年秋の授業では、時間の関係で、古典知識篇は任意学習とした。それでも熱心な学生は自主的に学習し、多くの質問をしてきた。特に「寝殿造り」については、学生からの要望が多かったので、特別に文法授業の時間を割き、補足説明し、質疑応答した。

7. 授業の総括

古典読解篇授業では毎回、課題作文を提出させ、添削・講評し、返却した。この年は新型コロナウイルス感染症蔓延の為、カリキュラムを十分にこなせなかったことを考慮すれば、菊地（2020b）で紹介した北京理工大学外国語学部生の書いた作文と比べ、それほど見劣りしないと評価できる。中には指定した字数をはるかに超える意欲的な作文もあった。

文法授業では、学習者が楽しく学べていたことがよかった。冊子教材があるため、2016 年から 2019 年の北京理工大学の受講生や、カイロ大学の 2019 年秋期受講生に比べても、予習復習はよくできていて、特に漢字の読み方や用語の意味などを熱心に調べていた。

この教材は漢字文化圏の学生が自習用としても使えるように作られていたが、今回の実践を通じ、非漢字文化圏である中東の大学学部生でも、授業で触れられなかった箇所を自主的に学習できることが確認できた。以上要するに、漢字文化圏の中で作られた教材ながら、非漢字文化圏でも、授業用教材としても、自習用としても支障なく使えたのである。

8. むすび

漢字文化圏で生まれたテキストが非漢字文化圏でも有効か、特に本書の究極の目的たる作文能力の助長に役立つか。さらに多くの作文実例を示し、報告するべきであるところ、世界的な疫病蔓延のために、十分な実例を集められなかったのは遺憾である。パンデミックが収束し、授業が正常に戻り次第、再びこれに取り組み、報告する所存である。

菊地(2020b)は従来になかったスタイルの古典入門書ながら、これが永久に日本語学習者向けリベラルアーツ教育のための、最善の古典教材であり続けるとは考えていない。本稿執筆中、佐藤勢起子氏の開発されたオンライン教材「BUNGO-bun GO」も登場した。こうした日本語学習者向け古典(文語文)入門教材が、今後も数多く世に出ることを期待する。稿者自身も教材のいっそうの改善と、さらなる教材開発に努めていきたい。

中国でも中東でも、稿者の古典授業を受講した学部生で、古典を専門とする道に進んだ者はいないが、この授業で培った日本語作文能力を生かし、現在、社会や大学院で活躍している。リベラルアーツとしての古典教育が日本語学習者に有効なことは明らかである。

(菊地真きくち まこと・カイロ大学・vakeneco28@gmail.com)

注

1. 第52回アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会(2021年2月13日)稿者発表への質問に「仮名文体・漢文体等、文体への配慮はどう考えているか」という指摘があった。文体別に配列するような教材も今後開発されるべき価値があると考えます。
2. 本文と他作品を比較することで、学習者に主体性を持った作文を書くことを促す効果があることについて、菊地(2020b)で学習者の作文実例をあげ、詳しく報告している。

参考文献

- 庵功雄(2020)「近代文語文を素材とする教育実践に関する一報告」『日本語教育』177, 77-91.
- 菊地真(2019)「中国の大学における日本古典教育—大学専攻日本語8級試験を生かす—」『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル』11, 73-80.
- 菊地真(2020a)「古典教育と作文能力—中国学生の日本古典を題材とした作文分析を通じて—」『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル』12, 45-53.
- 菊地真(2020b)『日本語学習者のための日本古典入門』学術研究出版
- 菊地真(2021)「古典教育の現代的意義—不易流行—」『AJALT』44, 26-29.
- 佐藤勢紀子・串田紀代美・高橋章則・小野桂子・楊錦昌(2016)「日本学専攻学習者を対象とする文語文教育」『専門日本語教育研究』18, 55-60.
- 渡辺修(1955)「解釈のための文語文法の学習指導」, 文部科学省教育課程課(編)『中等教育資料』4(6), 10-13.